

機械系 機械コース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

機械系では、次のような人材を求めます。

- 機械工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- 機械工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 機械工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

機械系の専門に関する学力，英語による語学力，適性などについて，面接形式の試問，筆答試験などにより，機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

機械系 機械コース (修士課程)

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 機械工学分野をコアとした専門科目の学修

学士課程で修得した機械工学分野の基礎知識を土台とし、機械工学分野を中心とした専門科目群の受講を通じて、最先端科学・技術の探求に必要となる幅広い工学的知識と専門学力を修得する。

B) 周辺専門科目および関連科目の学修

専門分野を超えた知識拡張により、異分野への適応能力と学際的な研究遂行力を養い、社会において優れた工学者として活躍するのに有用となる多元的知識と広い視野を修得する。

C) 思考能力・問題解決能力等諸能力の修得

修士論文研究の遂行や、問題解決の手法や演習問題を取り入れた授業の受講などを通じて、課題の本質を理解する思考能力、問題解決能力などの、最先端科学・技術の探求に必要となる諸能力を修得する。

D) コミュニケーション能力と論理的伝達力の修得

研究開発の遂行において必要となる他者に対する論理的説明能力と対話力、研究成果を発表する際に必要となる論理構成力、および、修士論文等の学術論文の作成に必要な文書化力を修得する。

E) 国際的視野および倫理観を涵養する学修

国内外の研究開発動向等を取り扱う授業の受講、国際学術交流、海外研究機関等への留学等を通じて、広い国際的視野を修得するとともに、多様な文化と価値観が存在するグローバル社会において責任ある工学者として活躍するための強い倫理観を涵養する。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

機械コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 課題の本質理解を可能とする思考能力
- ・ 機械工学分野をコアとする幅広い工学分野の知識と技術を活用した問題解決能力
- ・ 最先端科学・技術の探求能力
- ・ 国際的視野をもって研究開発等を遂行する能力
- ・ 論理的説明能力を持ち、議論を展開し文書にまとめる能力
- ・ 強い倫理観を持って研究開発等に携わる姿勢